四日市港管理組合

発 表 四日市港でバイオディーゼル燃料を利用した実証実験を行います 事項 四日市港では、港湾における官民関係者が一体となったカーボンニュートラル ポート(CNP)の形成を推進するため「四日市港港湾脱炭素化推進協議会」を設立 し、令和6年3月には「四日市港港湾脱炭素化推進計画」を作成しました。 同計画では、「港湾脱炭素化促進事業」として、事業規模や事業期間、事業の 効果などを具体的に定めるとともに、民間企業を含めた実施主体を明記しており、 同事業の1つとして、荷役機械やひき船等への脱炭素化に資する燃料の導入を検 討しています。 三重県が実施している「令和6年度カーボンニュートラルコンビナート(CNK) 推進のための調査・実証事業」において、「四日市コンビナートカーボンニュー 発 トラル化推進委員会」に参画している出光興産㈱等からの協力を得て、コンテナ の積み降ろしを行う荷役機械(トップリフター)と大型の船舶等の離着岸を支援 するひき船を対象にバイオディーゼル燃料を使用する実証実験を下記の通り実施します。 表 当該実証実験では、CO2削減等の効果検証だけではなく、バイオディーゼル燃料 の使用による操作や動作等の技術的課題や燃料供給(サプライチェーン)上の課 題等の整理も行う予定です。 種 類(所有者) 給油予定 燃料 種別 | 内 令和7年1月16日(木) 時間:12:00~(予定) バイオディーゼ 荷役 トップリフター 場所:四日市港霞ヶ浦地 ル燃料 (HVO) と (日本トランスシティ(株)) 機械 区南ふ頭コンテナ 軽油の混合油 容 ターミナル 令和7年1月28日(火) バイオディーゼ ひき船 時間:10:00~(予定) ル燃料 (FAME) 船舶 (四日市港管理組合) 場所:四日市地区ひき船 とA重油の混合 桟橋 油 ○バイオディーゼル燃料 (HVO・FAME) とは 植物由来の食用油や使用済みの廃食用油等をメチルエステル化処理や水素化処 理などして製造し、性状が軽油に類似しているものをいい、軽油や重油の代替と

植物由来の食用油や使用済みの廃食用油等をメチルエステル化処理や水素化処理などして製造し、性状が軽油に類似しているものをいい、軽油や重油の代替として既存のディーゼルエンジンで利用できるドロップイン燃料です。植物が成長過程で光合成により大気中から二酸化炭素を吸収していることから、燃料使用時の二酸化炭素排出量は相殺されるため、カーボンニュートラルな燃料として注目されています。

なお、メチルエステル化処理によって製造されたものを「FAME」、水素化処理によって製造されたものを「HVO」といいます。





○カーボンニュートラルポート (CNP) 及びカーボンニュートラルコンビナート (CNK) とは 水素・アンモニア等の利用や受入環境の整備等を図ることにより、カーボンニ ュートラル社会に貢献する港湾やコンビナートのことをいいます。

○配布先

三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ、四日市市政記者クラブ、オーシャ ン・コマース、ジャパンプレス社、物流ニッポン新聞社、日本海事新聞社、輸 送経済新聞社、マリタイムデイリーニュース社、海事プレス社、港湾新聞社、 建通新聞社、港湾空港タイムス

【荷役機械】

- ・荷役機械での実証実験の取材をご希望される場合は、令和7年1月14日(火) までに、下記担当者(建設課 港湾計画担当)までご連絡ください。
- ・給油場所は、SOLAS対策の制限区域内となりますので、取材のご連絡をいただく 際に、会社名・お名前・緊急連絡先をご連絡ください。
- ※集合場所につきましては、お申込みいただいた方へ別途ご連絡いたします。

【ひき船】

- ・ひき船での実証実験の取材をご希望される場合は、令和7年1月24日(金) までに、下記担当者(港営課管理担当)までご連絡ください。
- ※集合場所につきましては、お申込みいただいた方へ別途ご連絡いたします。

〒510-0011 四日市市霞2丁目1-1

四日市港管理組合 経営企画部

建設課 港湾計画担当 三好 中世古

TEL 059-366-7036 FAX 059-366-7033

E-mail keikaku@yokkaichi-port.or.jp

港営課 管理担当 山田 森田

TEL 059-366-7013 FAX 059-366-7049

E-mail kouei-kanri@yokkaichi-port.or.jp

特 記 事

項

連 絡

先